

ご使用に当たって

各寸法入力画面の上部から順番に水色部分を埋めていってください。

トレーラー本体の諸元記入欄に於いては、リーフスプリング車はリーフスプリング欄に、コイルスプリング車はコイルおよびスプリング非装着車欄に記入してください。

牽引自動車側諸元を記入したあと、連結棒断面計算のボタンを押し、連結棒の計算をしてください。

連結棒に一般的に使用されている鋼材の断面図と計算式が記入されているので、まず材質と引っ張り強度、降伏点を記入した後、該当する断面図の水色部分に各部の寸法を記入してください。

続いて車枠材断面計算画面へ移り、連結棒の断面計算と同様に計算を進めていってください。

これらの記入が完了したら、再び入力画面に戻り各部の諸元を記入していきます。

制動能力の欄に於いてはD119の括弧欄に「省略可能」の表示があった場合、制動力の欄は省略することが可能です。

コイルスプリング、リーフスプリングは車輛に合わせて記入し、該当しないスプリングの部分は空欄にしておいて構いません。

リーフスプリング車でシャックル使用の場合、シャックルの諸元を記載していき、C184欄に「シャックルが長すぎます 短くしてください」の表示が出た場合、シャックルの長さが長すぎるため、短いシャックルに交換するなど、対策を練ってください。

続いて外観図の印刷ボタンを押し、フォーマットされた外観図に必要な箇所の寸法を記入していきます。このとき別に外観の写真を添付する場合、外観の写真に灯火装置の設置されている場所の寸法や、外観における主要部分(全長や全幅、ホイールベースや輪距など)の寸法を写真内に書き込むことにより省略することも出来ます。

続いて最大積載量の決定となりますが、入力画面のバックグラウンドにて計算されておりますので、N231の欄に法規上取得することの出来る数値が提示されておりますが、下部のエラーメッセージのタブをクリックし、エラーメッセージシートを参照しながら、エラーが消えるまで、50kgずつ減じていってください。エラーが全て消えた地点が、計算しているトレーラーの強度上の最大積載量となります。

次に車輛諸元要目表に移動し、未記入の水色部分を記入し、続いて同様に保安基準適合検討書の未記入部分を記入したあと入力画面に戻り角印刷ボタンにて印刷します。

ここまで終わったら、入力画面の最上部に戻り、「コイルスプリング車の印刷」もしくは「リーフスプリング車の印刷」を選択して印刷し、添付資料として先に印刷した「車輛諸元要目表」と「保安基準適合検討書」、さらに外観の4面写真(側部、上部、前部、後部)、強度計算書を提出した箇所の詳細写真を添付し、改造自動車届出書をホッチキスなどで綴じ、管轄の運輸支局に提出してください。

運輸支局によってはこれらのほか別途資料を請求される場合がありますので、その場合はそちらの支持に従ってください。

当社では一台に限りフルサポートさせていただきますので、追加資料等の件でご不明な点がありましたら、
ご遠慮なくメールにてお問い合わせください。

有限会社スピリア
北海道札幌市北区新琴似12条10丁目1-3
電話 011-766-8053
ファックス 011-761-3715
www.superior-inc.com

菱川 靖久
hishikawa@superior-inc.com